
 回創研鹿兒島経営研究会

創立30周年記念誌

共に学び
共に栄える

発行

 回創研鹿兒島経営研究会

企画監修

第18代会長 高木 克也

2024年度理事会

取材/制作

30周年準備委員会

委員長 鶴木 美穂子

委員 大迫 伸博

前田 耕太郎

奥 義正

竹之内 太吾

制作/編集

伝わるは、つくれる

 NSTYLE

<https://kagoshima-keiei.com/> 検索



「日創研鹿児島経営研究会 設立30周年を迎えて」



日創研
鹿児島経営研究会

共に学び 共に栄える



CONTENTS

01p	目次
02p	ごあいさつ 田舞 徳太郎 (日創研経営研究会 本部長) 今別府 英樹 (鹿児島経営研究会 初代会長) 高木 克也 (鹿児島経営研究会 第18代会長)
03p	発足時の組織図
04p	チャーターメンバーの写真
05p-	写真で振り返る30年のあゆみ
06p	1994年12月 - 2014年
07p-	写真で振り返る30年のあゆみ
08p	2015年 - 2024年7月
09p-	会員数と黒字率の推移
10p	年表主な出来事1994年 - 2023年
11p-	30周年にあたり歴代会長より
14p	これまでを振り返りこれからの10年について念うこと
15p-	10年後の抱負
20p	あなたが描く10年後の自社又はご自身について
	創立30周年記念式典アルバム
21p-	I 記念講演「あきらめるかチャレンジするか！」
28p	II 記念懇談会 II 全員集合写真
29p-	鹿児島経営研究会40年ビジョン
30p	



日創研経営研究会本部長
(株)日本創造教育研究所
代表取締役 社長
たまい とくたろう
田舞 徳太郎

鹿児島経営研究会会員の皆様におかれましては、益々のご清栄を心よりお慶び申し上げます。さて、早いもので日創研経営研究会も設立30年目を迎えました。まさに、光陰矢の如しですが、「緑ありて花ひらき、恩ありて実を結ぶ」この言葉を強くかみしめている今日この頃です。この30年で各地経営研究会が想像以上に発展を遂げてきました。これもひとえに研鑽いただいた皆様方の多大なご尽力の賜物です。心より感謝御礼申し上げます。

1994年8月22日大阪第二研修センターで発起会を開催し、全国から約180名の皆様方に期待をもってご参集いただき、同年11月7日、39会の認証と委嘱、約750名の会員により、記念すべき第一回本部理事会が開催されました。「一つの理念・二つの目的・三つの誓い」を旗印にどのように学んでいけば良いか、設立当初は定款や諸規定も未熟で、試行錯誤の本部理事会でした。熱意に満ちた本部役員、全国の各地会長の皆様方の真摯なご協議やご審議・素晴らしいご支援・ご尽力・リーダーシップを賜り、ときに移動理事会なども開催しながら、毎回のごとく改善を果たしてきました。設立当初は、電話や郵送でのご案内から始めた時代でしたが、本部組織も充実し、組織活性化委員会の活躍、レクチャー委員会、公式教材普及委員会の各例会が開催され、本部三大事業（全国大会・全国経営発表大会・特別研修）も盛大に開催されるまでの発展を遂げて参りました。しかし、皆様ご存じのように、円安や少子高齢化の進行による深刻な人手不足など、日本経済は筆舌に尽くしがたい苦境下にあります。

今後は、いかに付加価値を持たせた経営活動ができるか、安易な考え方に終わることなく発展させ、国家の繁栄に貢献すべき時であると考えます。今一度、自社の経営の質を問い直し、日創研経営研究会への参加意義、存在理由、使命を問いかけ、さらなる強力な研鑽の場として発展させなければなりません。各地会員の皆様方におかれましては、自社の発展を通して地域貢献を果たしていく気概を持ちつつ、未来の日本の発展に寄与する価値を担うためにも、「さらなる学びの場として」ご活用していただきますことを切に願うものでございます。



日創研鹿児島経営研究会
初代会長
今別府産業株式会社
代表取締役 会長
いまべつ びでき
今別府 英樹

私がTT受講中の1994年8月22日、田舞代表より招集があり、全国から180名の有志が大阪の日創研センターに集合、日創研経営研究会設立発起会が開催された。11月7日に大阪で第一回本部理事会開催、各地で経営研究会が設立されることとなった。設立目的はTT卒業生による、学び続ける環境を各地で創り出すこと。

鹿児島経営研究会は12月22日に弊社会議室にて設立総会を開催、私が初代会長に選出された。会員28名でスタート、年末迄に全国で39の経営研究会設立、会員数は750名に達した。鹿児島経営研究会認証番号は設立順で30番となった。

設立当初は、総会、理事会、例会、委員会の運営にも試行錯誤、毎回背中に大量の汗。連絡もFAXと固定電話だった。定款と一つの理念、二つの目的、三つの誓いのみを頼りに、初期チャーターメンバーの志の高さから、毎回の出席率はほぼ100%。例会では即時指名と即題10分間プレゼンが行われ、緊張感に満ちていた。

自社を良くし、立派な経営者になることを目的にメンバーは学び続けた。特に印象に残っているのは、2年目に田舞代表を迎えての「諦めるか、チャレンジするか」の講演会を、サンロイヤルホテルにて有料で1700名集客できたことだ。また、この場のスピーチにより、社員さん達からの承認を感じた。

30周年を迎えるにあたり、これまでの歩みを感慨深く振り返りつつ、今後も仲間と共に学び続け、40周年を迎え、会社も自身も健康で元気な80歳を目指したいと考えている。



日創研鹿児島経営研究会
第18代会長
有限会社 高木生花店
代表取締役 社長
たかき かつき
高木 克也

日創研鹿児島経営研究会設立30周年を迎えるにあたり今年度会長としてご挨拶申し上げます。

これもひとえに、歴代会長をはじめ諸先輩方が築いてこられた「すべてが学びである」という健全な会風がこの30年間醸成されてきた賜物であると深く感謝を申し上げます。

設立時の会員数28名から現在は76名となりました。会員同士が本部研修で得た学びを持ち寄る現代の「郷中教育」ともいえるような場として発展したことも本会の特徴です。

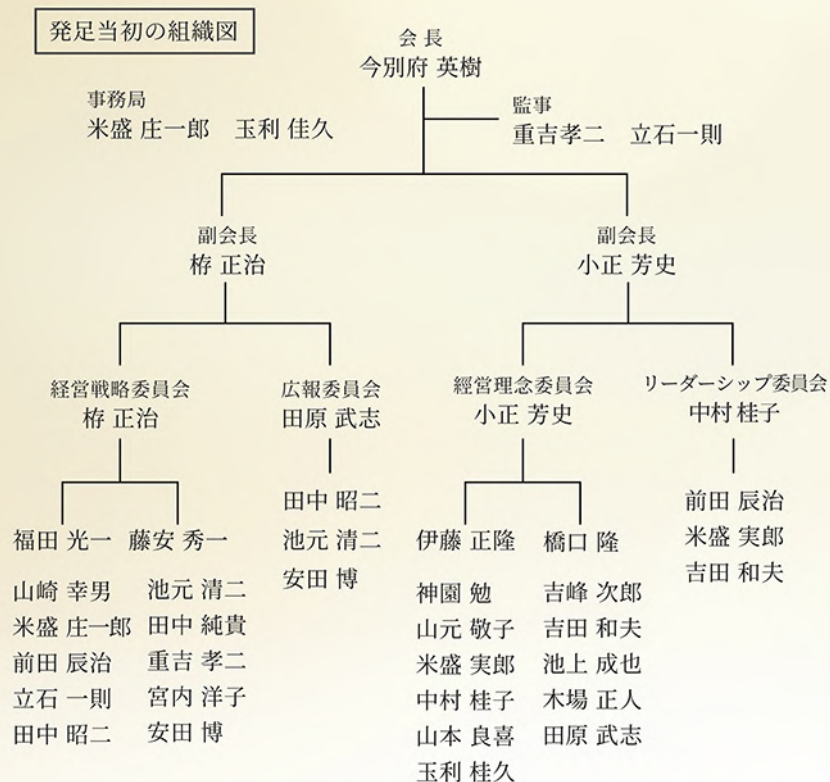
会員黒字率においてはコロナ禍においても2021年は約83%、2022年は約86%、昨年度は約91%となっており、会員企業の学び実践し続ける自助努力と本会が経営者として切磋琢磨しあえる活動を積み重ねてきた結果だと思っています。私は2013年に入会し、入会2年目から理事を拝命し、「会員黒字率100%」、「行列のできる経営研究会へ」というビジョンに向けて、志の高いメンバーと共に活動して参りました。

現代は予測が困難であるVUCAの時代とも言われています。そのような時代においても本部研修と経営研究会での学びの両輪を活用し、地域の中で一目置かれるような会員企業が集まる鹿児島経営研究会でありたいと心から願っております。「一つの理念」「二つの目的」「三つの誓い」を愚直に実践してきた姿は今後もそのままに継承し、未来に向かってさらに進化した経営研究会として発展すべく、心新たに取り組んで参ります。

先駆者へ感謝

チャーターメンバーが築いた30年の出発点

発足当初は、本部から受領した創設初期の定款を基に、組織編成や役割分担・責任・権限の確立に始まり、理事会の運営や例会の企画運営に至るまで、試行錯誤を重ねながら取り組む日々でした。



活動を支えた「理念」と「共に学ぶ仲間たち」

TTコース含む可能思考研修を修了したメンバーが中心となって理事役員を担い、組織をリードしました。副会長と委員長は、他の役職や委員会も兼務するかたちで活動する日々でした。

ゼロからのスタートという厳しい環境の中でも、組織の運営を継続して支えることができたのは、『共に学び 共に栄える』という理念に共感し、その実現を目指して共に歩んだ仲間たちの存在があったからです。この仲間たちの情熱と結束が、今日までの発展の原動力となりました。

創設当初の予算が厳しい状況の中、理事会の会場は会員企業の会議室をお借りし、経費を抑える工夫を重ねました。また、田舞本部会長のご協力により、有料セミナーの開催を実現し、その収益をもって活動資金を確保しました。このように、会の運営は多くの支援者との連携と創意工夫のもとに進められてきました。



写真で振り返る30年のあゆみ【1994年12月～2024年7月】

1994年 12月設立総会にて発足

1995年 初代会長 今別府 英樹	1996年	1997年 第2代会長 小正 芳史	1998年 第3代会長 伊藤 公隆	1999年 第4代会長 橋口 隆	2000年 第5代会長 藤安 秀一	2001年 第6代会長 崎元 誠	2002年 第7代会長 梶 正治	2003年	2004年 第8代会長 米盛 庄一郎
									

2005年	2006年 第9代会長 長田 祐里華	2007年	2008年 第10代会長 塩倉 宏	2009年	2010年 第11代会長 田中 純貴	2011年	2012年 第12代会長 肥後 貴史	2013年	2014年 第13代会長 石塚 剛
									



2015年 第13代会長 石塚剛



会員企業の活性化 100%黒字の実現

「行列ができる経営研究会へ」「プライオリティNo.1」を掲げ、委員長・副委員長の役割を明確にし、組織の機能性向上に努めました。そこから出席率担当等生まれ、高い出席率に繋げることが出来ました。組織がより機能するように、仕組みづくりと場づくりに注力しました。



勉強会の様子



レクチャー例会:小野寺講師



特別講演会 市民文化ホール



方針発表一泊例会

2016年 第14代会長 小正 芳嗣
2017年



志高き会員企業の活性化 ありがとう経営会員 企業100%黒字の実現
会員のみなさまにとって、学びや成長を促す活動を推進し、100%黒字化に向けた施策を積極的に実施しました。また、自社も大きなチャレンジの年であったことから、企業永続のために、変化に対応するなど実益に繋がる例会の実施や学ぶ場の創出により力を込めました。



13の徳目朝礼ブロック予選



レクチャー例会:松本講師



特別講演会



13の徳目朝礼大会決勝



ズバット幹部育成塾



全国経営方針発表大会 懇談会



レクチャー例会:眞鍋講師



レクチャー例会:肥後講師



レクチャー例会:八城講師



レクチャー例会:扇野講師



方針発表会 一泊例会



10月例会 白熱教室

2018年 第15代会長 西元 昭史
2019年



会員企業100%黒字の実現

車座問答塾の開催など歴代会長と一般会員さんとのコミュニケーションの量を増やし、自らも100%参加するなど橋渡し役に注力しました。様々な経験を楽しめる機会が「経営者の会」の醍醐味です。コミュニケーションが増えたことで、会の雰囲気がいよいよ良くなり、100%黒字を目指す士気を大いに高めることができました。



委員会勉強会



方針書セミナーPR



ズバット幹部育成塾上級コース



幹部育成塾でも学ぶ増山会員



5時間セミナー 過去最多436名



車座問答塾 柘治歴代会長



11ブロック南九州経営発表大会 in延岡



13の徳目朝礼大会決勝



9月例会 白熱教室 沸点に達する学びの環境づくり



車座問答塾 長田歴代会長



10月例会 繁盛店に学ぶ ビジネスモデル討論会

2020年 第16代会長 藤安 健志
2021年



会を最大限活用する 学び、実践し、魅力ある企業を創ろう

コロナの影響で全事業をオンラインに切り替えた際、歴代会長や多くの会員の皆様のご理解とご協力のおかげで、不慣れながらも素晴らしい例会を開催することができました。また、新入会員さんの紹介を含め、会員同士の関係性や結束を維持・強固にする取り組みに特に力を入れました。



1月例会 焼酎からウィスキーへ 秘めた戦略:小正(嗣)歴代会長



1月勉強会 ララシヤンス七福神にて



2月総会 朝礼メンバー紹介



5月例会 「コロナに負けない」



9月のオンライン例会 「靴職の経営方針発表会」 経営者委員会



13の徳目朝礼予選(オンライン)



10月の特別講演会 経営者の会



10月特別講演会 広報総研委員会



竹之内委員長「委員会の皆様ありがとうございます！」



健志の部屋〜新入会員さんへ〜



10月特別講演会 広報総研委員会



特別講演会 初のオンライン開催



北野会員のご紹介



特別講演会 初のオンライン開催

2022年 第17代会長 鶴木 美穂子
2023年



ONE TEAM「家族」マインドイノベーションし、業績の上がる会へ

委員長会を通じて横の連携を強化し、組織全体の結束力向上に努めました。また、例会の効果を最大限に引き出すため、事業計画に目標とターゲットを設定し、成果の最大化に努めました。オンライン・ハイブリッド形式での運営経験は、今後の多様な学びの機会を提供する上で価値ある経験でした。



朝礼ブロック予選



6月例会 戦略を実現させるのがリーダーシップ!



7月例会 経営方針発表会



8月例会 ハイブリッド〜2年6か月ぶりリアル開催〜



10月特別講演会 一流の指導者から学ぶ良い習慣術



9月例会 理念に基づく行動指針〜社員はどう動く〜



1月レクチャー例会



「あったらいいな。」を叶える 組織づくり 澳津講師



6月レクチャー例会



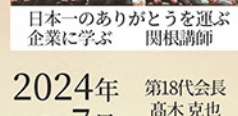
7月例会 方針発表会 in小正醸造&嘉之介蒸留場



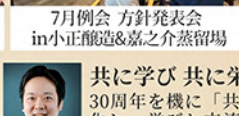
共感経営による業績向上 湯ノ口講師



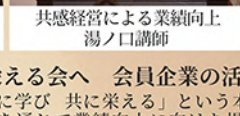
10月特別講演会



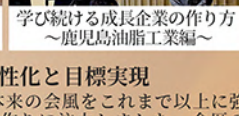
日本一のありがとうを運ぶ 企業に学ぶ 関根講師



7月例会 方針発表会 in小正醸造&嘉之介蒸留場



共感経営による業績向上 湯ノ口講師



1月例会

2024年 ~7月 第18代会長 高木 克也



共に学び 共に栄える会へ 会員企業の活性化と目標実現

30周年を機に「共に学び 共に栄える」という本来の会風をこれまで以上に強化し、学びと交流を通じて業績向上に向けた場づくりに注力しました。会歴の浅い会員さんにも積極的に活躍の機会を提供し、全会員が自社の目標を達成し、業績向上につなげられるように活性化に努めました。



1月体験型例会



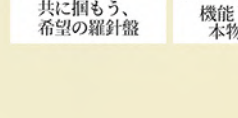
共に掴もう、希望の羅針盤



4月例会 魅力発信で未来を創る SNSは必要か



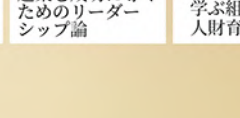
4月例会 理念経営の真髄に学ぶ 機能してこそ 本物の理念



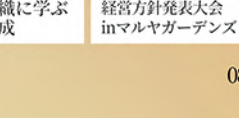
11月例会 繁盛店に学ぶ ビジネスモデル討論会



4月例会 魅力発信で未来を創る SNSは必要か



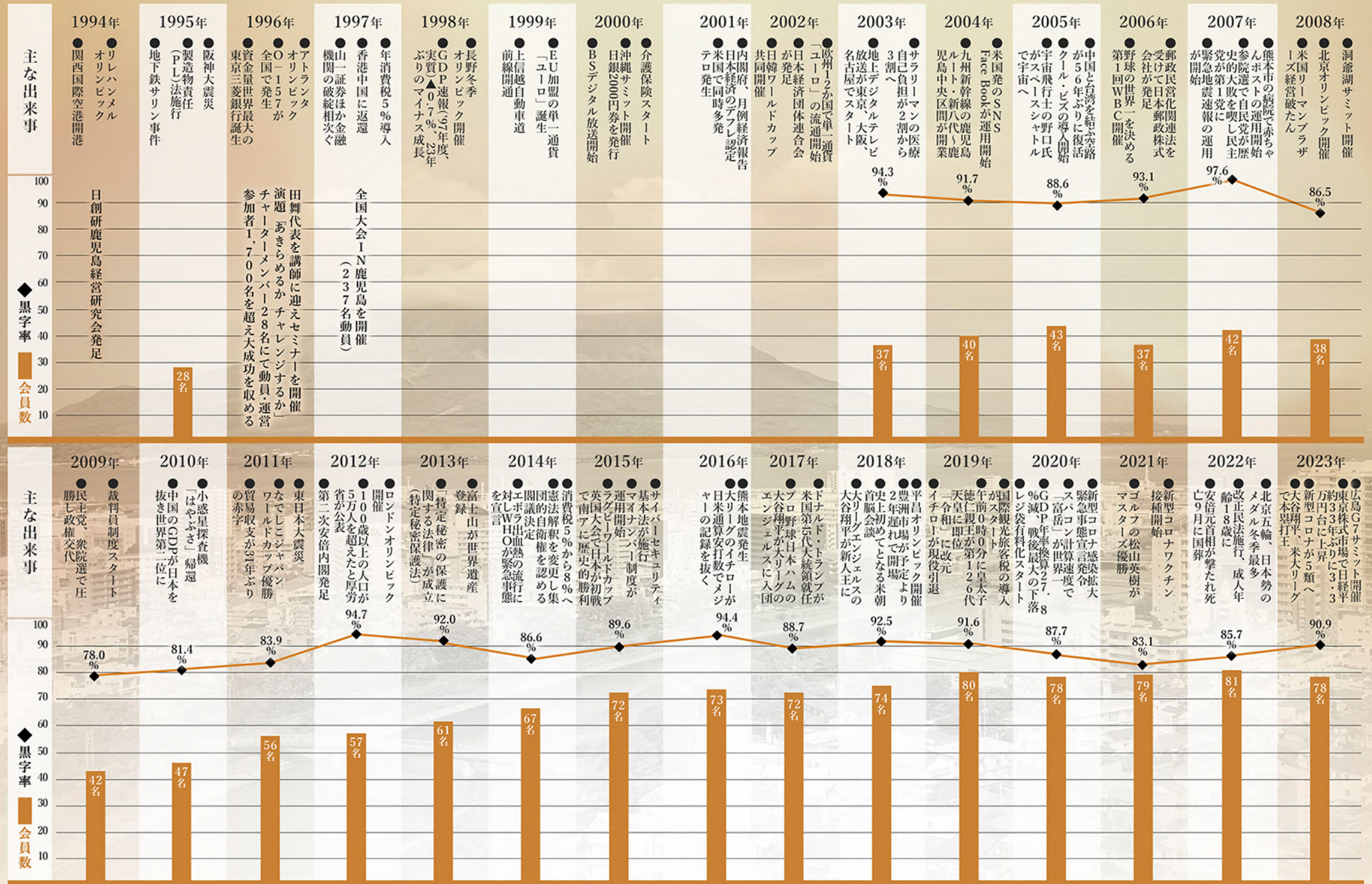
5月例会 起業を成功に導くためのリーダーシップ論



6月例会 学ぶ組織に学ぶ 人財育成

◆会員数・黒字率の推移と主なできごと(1994年-2023年)◆

外部環境が変化する中、本部研修受講と会の活動を通して真剣に学び
会員数増加と黒字率向上に取り組んできました



歴代会長のみなさまへ

鹿児島経営研究会におけるこれまでを振り返り

これからの10年について念うことをお聞かせください

※今別府 英樹初代会長ならびに高木 克也18代会長におきましては本誌2ページにて寄稿文を掲載しています。

※第4代会長の橋口 隆氏におかれましては、ご逝去されていることから寄稿文を割愛させていただきます。心よりご冥福をお祈り申し上げますとともに、皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

橋口歴代会長におかれましては、鹿児島経営研究会の発展にご尽力くださいましたことに心より感謝申し上げます。



第2代目会長

こまさ よしふみ
小正 芳史

入会年:1995年

小正醸造株式会社
代表取締役 会長

「カノスケウイスキーを世界のブランドにし、焼酎と共に羽ばたく。」

日創研と出会って早31年が過ぎようとしています。SA受講時には父の死による精神的不安定な時期にありましたが、自分と会社を強くしていく硬い決意をしました。その後も様々な研修を受け続け、現在に至ります。

2代目会長として鹿児島で全国大会を開催した過去を鑑み、今年30周年を迎え、歴史の積み上げで今があると強く感じる次第です。今後更なる発展を祈っております。

会社については今年小正ホールディングスの代表取締役として、小正醸造、小正嘉之助の両社を束ねております。カノスケウイスキーを世界のブランドにして、焼酎と共に羽ばたいて参る所存です。

「継続は力なり」が原点です。今後ともご指導よろしくお願い致します。



第3代目会長

いとう まさたか
伊藤 公隆

入会年:1995年

株式会社 伊藤運送
代表取締役 会長

「30年間の感謝とこれからの挑戦」

鹿児島経営研究会が発足して30年、私もチャーターメンバーとして30年が経過しました。田舞SAの受講がきっかけで日本創造教育研究所の学びに参加、その後、日創研本部との深い繋がりができ、鹿児島経営研究会設立にも関わらせて頂きました。

現在では息子も、鹿児島経営研究会のメンバーとして、お世話になっています。これまでの30年は非常に有意義で、素晴らしい時間を過ごさせていただき、大変嬉しく思います。

これからも「当たり前」を「当たり前」とせず、そしてマンネリに陥ることなく、これまでの経験を再確認しながら、前向きに、前のめりに進んでいきたいと考えております。



第5代目会長

ふじやす しゅういち
藤安 秀一

入会年:1995年

藤安醸造株式会社
代表取締役 会長

「経営は「何のために」を自問自答し続けることが大切。」

当時、創立5年目で創業期の勢いが衰え、会員の退会が目立ち始めました。3年目まではホテルでの例会が頻繁に行われましたが、橋口、私、崎元会長は資金繰りに苦勞し、正に緊縮財政でした。会長職を務めながら、事務局長の吉田君と共にTTを受講し、会運営にも苦勞しました。8代目米盛会長の時に田原氏が事務局長に着任し、今の理事会・例会運営の礎を築いたと記憶しています。彼の個性の強いリーダーシップもあり、みんなで支え合い、現在の素晴らしい会運営の基礎を築きました。

今後の事業環境は厳しくなり、日本の環境も大きく変わるでしょう。そのため、「何のために」を自問自答し問い続けることも大事になると思います。



第6代目会長

さきもと まこと
崎元 誠

入会年:1995年

医療法人
崎元歯科医院
理事長

「業種を超えて真剣に学べるこの会の素晴らしさをさらに高め、会員の充実と会員企業の繁栄に繋げて欲しい。」

私が2001年度に会長職を引き継いだ時、34名の会員で、例会は2か月1回の開催でした。創設後に入会した会員も増え、会員同士がお互いを知るために、毎月の開催、ほぼ全会員による自社の経営発表を行いました。

また、会員だけでなく、スタッフを交えた研修会など、いろいろチャレンジし、私にとってあっという間の1年間でした。

30年と言う節目を機に、日創研鹿児島、各会員がこれからの10年後を見据え、ここに記念誌を出版することはとても意味があり、業種を超えて真剣に学べるこの会の素晴らしさをさらに高め、会員の充実と会員企業の繁栄に繋げて欲しいと思います。



第7代目会長

かこい まさはる
梶 正治

入会年:1994年

株式会社 共栄
代表取締役 会長

「共に学び 共に栄える」鹿児島経営研究会

日創研鹿児島経営研究会30周年は、私の社長就任と時を同じく感慨深いものがあります。「共に学び 共に栄える」学ぶことが経営の基本と考える。研修の同志が地域で学ぶ場を提供したい、という田舞代表の想いから経営研究会の仲間と共に今日を迎えられたことに感謝です。

「学びて然る後 足らざるを知る」学ぶことでしか自身も会社も、現在地が観えないこと気づいた30年でした。日創研鹿児島経営研究会も今別府初代会長のもと、二十数名の同志と設立し現在会員数は七十数名になりました。

これまでも、これからも掲げたビジョンに相応しい経営に近づけるために、会員の相互研鑽が「共に学び 共に栄える」に通じるよう取り組んで参ります。



第8代目会長

よねもり しょういちろう
米盛 庄一郎

入会年:1994年

米盛建設株式会社
代表取締役 社長

「これからも目指すものは変わりません。」

今から30年前の1994年に鹿児島経営研究会は発足しました。設立当初は理事会や例会の開催も手探り状態で連絡を取るのも、携帯電話は普及してなくて出欠の確認はもっぱらファックスでした。技術の進歩は急速で今では連絡を取り合うのも便利になり、文書のやり取りも早くなりました。

30年前の写真を見ると皆さん若くていらっしゃいます。メンバーは変われど日創研の目指す方向は変わりません。同じ目標を目指し、鹿児島経営研究会の益々の発展と会員の皆さまのご活躍をお祈りいたします。



第9代目会長

おさだ ゆりか
長田 祐里華

入会年:2001年

社会福祉法人 天祐会
理事長

「人生一度、逃げず、しゃがまず、へこたれず、顔で笑って心で泣いてそれでも前に進みます。感謝」

鹿児島経営研究会に入会して今年で23年が経ちます。経営に悩み苦しみ、日創研の研修を受講し、鹿児島経営研究会に身を置き学びを継続してきましたが、アツという年の年月だったと感じます。鹿児島の先輩経営者の後ろ姿を真剣に追いかけてながら、学びで足らざるを知り、きりが無い自分磨きに精を出し、自身の人生の山を登りそしてそろそろ山を下りる時期に入っているわたしの人生はこのままでいいのだろうかと自問自答する日々です。

人生一度しかないのだから、これから10年は現役で、のびのびとハツラツとたくさん事を経験したいと思っています。逃げず、しゃがまず、へこたれず、顔で笑って心で泣いてそれでも前に進みます。感謝。



第10代目会長
しおくら ひろし
塩倉 宏
入会年：2001年
税理士法人
れいめい
代表社員/税理士

「行動こそ真実！」

日創研の研修で学んで、いつも身近にある言葉です。1999年に税理士登録して間もなく研修を受講して以来あつという間の24年間でした。いつも自信のない自分が「それは自分が選択したこと」「それは自分の決断だ」と自問自答しながら今が在ります。

鹿児島経営研究会の先輩方とは、たくさんのお会い、たくさんのお経験と共に行動させてもらっています。学びも仕事も遊びも豪快ですがいつも優しく楽しい時間です。さらに30周年の節目に、この会の一員である有難さ、誇らしさを感じます。事務所もあと8年で100年の歴史を迎えます。これからも学びとともに行動していこうと思います。



第11代目会長
たなか すみたか
田中 純貴
入会年：1995年
有限会社 マルナカ
代表取締役

「これからは後方支援としての立場から自社の若手育成、地域へのお客立ちの為、学び続けていきます。」

日創研の研修を受講して30年以上になります。SA.SC.IT.TTと受講後に「経営に終わりは無い。鹿児島にも経営研究会をつくらう」と今別府さんを中心に鹿児島経営研究会が発足しました。月1回で集まり自社の問題点を発表し、またフィードバックしたり、かなり厳しい空気の会でした。11代の会長もさせて頂きましたが、主体性が足りない所をフォローしていただながら2年間務めることが出来ました。今思えば「日創研と関わっていなければ…」今頃会社は無くなっていただと思えます。これからは後方支援としての立場から自社の若手育成、地域へのお客立ちの為、学び続けていきます。



第12代目会長
ひご たかし
肥後 貴史
入会年：2003年
株式会社 牛一
代表取締役

「我が社のビジョン「愛されて100年企業」を実現すべく、これからも真摯に学び続けていきます。」

鹿児島経営研究会に入会したのが2003年。経営のことが全く分からず、多くの先輩に指図を仰ぎながら学び続けて参りました。「共に学び共に栄える」という理念のもと、例会は勿論、懇談会までひたすら経営の話。こんな真摯に学ぶ会には他にないと思えます。私にとって月に1回、自分の中心軸に戻れる場所、それが経営研究会です。20年間学び続けたおかげで社員数5名の家業から、今では35名のスタッフを抱えるまでに成長させることができました。我が社のビジョン「愛されて100年企業」を実現すべく、これからも真摯に学び続けていきたいと思っています。



第13代目会長
いしづか つよし
石塚 剛
入会年：2001年
株式会社 丸和工業
代表取締役社長

「学び続ける経営のプロになろう！」

当時の会員数70名、黒字率90.3%、出席率98.3%でした。「共に学び、共に栄える」ために経営者は勉強をしなければいけない。という会風が来ておりました。例会、特別講演会、本部三大事業の活動に対して、理事メンバーが真剣に、そして楽しく活動していました。

会長時代は、①市民文化ホールで1300名超の前で会長挨拶をさせて頂いた事。②「学ぶ」という事。他県会長とのスキルの差に愕然とした後、立て続けに職能研修を受講しました。この経験がなかったと思うとぞっとします。鹿児島には郷土教育の文化があると思えます。この財産をしっかり活かして頂き、それぞれの業界の経営のプロが集まる経営研究会にしましょう。



第14代目会長
こまさ よしとく
小正 芳嗣
入会年：2003年
小正嘉之助蒸溜場
株式会社
代表取締役社長

「これからの10年、更に厳しい時代を生き抜く為、次世代に繋げるべく精進してまいります。」

2003年鹿児島経営研究会に入会させて頂き、2016年～17年まで会長職を拝命、会の活性化に尽力してまいりました。鹿児島経営研究会は日創研での学びは、自分と会社にとって大きな財産となっています。

現在は自社の事業領域を広げ、「薩摩蒸留酒文化創産業」を更に深耕すべく、ウイスキー事業を軸にグローバルでの活動を行い、業績拡大に努めています。これからの10年、更に厳しい時代を生き抜く為、次世代に繋げるべく精進してまいります。



第15代目会長
にしもと あきふみ
西元 昭史
入会年：2006年
有限会社 西元自動車
ボデー工場
代表取締役社長

「初心に返って」

2006年1月、『理念と経営』創刊号での勉強会に参加し、各参加者の経営哲学に感動しました。自分自身も学ぶ必要を感じ、同年6月に入会。翌月の1泊例会では肥後さん、石塚さん、小正さんと経営プレ発表を行い、9月の全国大会でも発表させて頂き、全国の経営者から多くの指摘を受けたことが印象に残っています。

塩倉会長時に推薦され理事に、その後全委員会の正副委員長、事務局長を経て2018年・2019年に会長を務めました。入会して18年間、多くの先輩や後輩から学ばせて頂きました。この場をお借りして感謝申し上げます。これからの10年は、入会時の感動を胸に、初心に返って「経営哲学」、「人生観」を学び続ける所存です。



第16代目会長
ふじやす たけし
藤安 健志
入会年：2011年
藤安醸造株式会社
代表取締役社長

「鹿児島経営研究会があったからこそ今の自分がある」

2013年に入会してからこれまで、自社の悩み・課題への相談や研修への後押しなど経営研究会の活動を通して多くの先輩方に育てていただきました。また、会長任期の時は、コロナ禍真っ只中でしたが、どのような状況でもトップとしてのあるべき姿勢が何かを歴代会長をはじめ会員の皆様から学ばせていただきました。鹿児島経営研究会という学びの環境に身を置いたことからこそ今の自分があります。

これから10年先も鹿児島経営研究会は経営者同士が学び合い、支え合い、自身を磨く場としてあり続けることを望むとともに、自らが地域・お客様・社員さんにとって無くしてはならない存在で在り続けられるようこれからも私自身学び続けてまいります。



第17代目会長
うつき みほこ
鵜木 美穂子
入会年：2013年
株式会社Relieve
代表取締役

「感謝」

2013年、潮れる者は葉をもつかむ・・・この心境で経営研究会に入会させて頂きました。経営者とは何者なのか？何ができればいいのか？私自身これがわからなくてこの会に入会し、経営者という方々の考え方、その指針となるものを教えていただき、自分の心構えを作っていただけなのがこの会です。学びて己の足らざるを知り、語りて己の磨かざるを知る。学べば学ぶほどできてないことや、やれていないことに直面しまだ自分の自分を振り返られますが、それができるのも会のみならずとの関わり、また学びのお陰です。

これからの10年は「仕事観」とともに人として「人生観」「人間観」を学び続けたいと考えております。

創立30周年記念式典アルバム

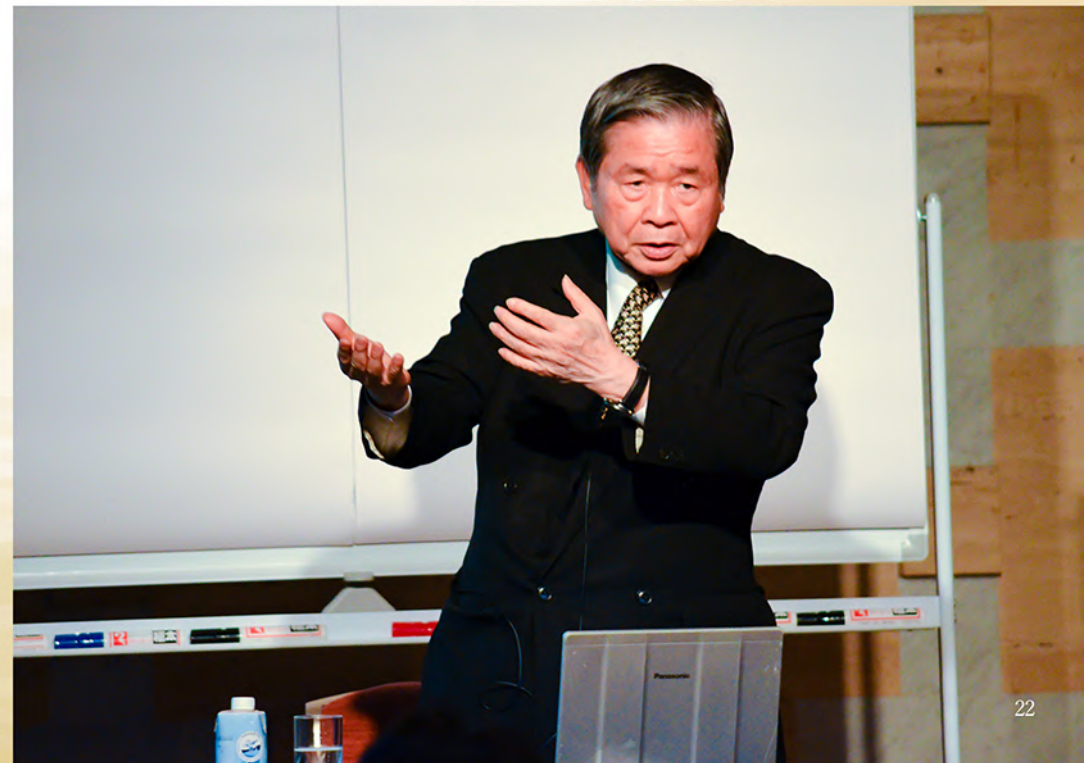
記念講演
「あきらめるか!?チャレンジするか！」

記念懇談会

令和6年8月3日


SHIROYAMA HOTEL
kagoshima
2F アメジスト

創立30周年記念式典当日の写真を掲載いたします。直前に開催した8月総会の様子も一部掲載しております。当日の流れや談話などの様子をスナップ写真で収めました。









創研鹿児島経営研究会
VISION
Aiming for
achievement by 2034

40

会員企業が各業界、
各業界で一目
地域のトップランナー
置かれる企業へ